

バリアフリーヨットを中心とした海洋教育教材

工学部電気電子システム学科 西村次郎

理学部臨床生命学科 森博史

ヤマハ発動機株式会社 竹原克紀

Keywords: アクセスディンギー、ユニバーサルデザイン、海洋文化、海洋教育

1. 研究目的

ヨットのセール(帆)に風をうけて、海上を自分の思いのまま帆走させることは実に楽しい。そしてこのような海での体験は、子ども達の自主性や自己責任、協調性、克己、気力、体力、問題解決能力などの総合的な生きる力を養うとともに、自然の素晴らしさや厳しさを学ぶことができます。高齢者や障がい者をはじめとして、すべての人々が安全に楽しみ学ぶことができる海洋教育教材の実践的研究を行っています。

2. 内容

- ① 浮力、安定性、操作性に優れたユニバーサルデザインの小型ヨット(アクセスディンギー)を使用してのセーリング体験。(肢体不自由、視覚障がい者の方々も参加しています)
- ② ロープワーク(結びの方法) ③ 船の科学(水槽実験) ④ 段ボールボート製作・試乗



① < アクセスディンギー >

前方を向いて座り、中央のスティックが車のハンドルと同じ役目をします。



② < ロープワーク >

もやい結びなど、日常生活でも活かせる各種結びの方法を楽しく学びます。



③ < 船の科学(水槽実験) >

浮力、復元力、強度、推進力、抵抗などについてわかりやすく学びます。



④ < 楽しい! 段ボールボート製作 >

船の科学を学んだ後、グループで段ボールボートを製作・試乗します。

3. 適応分野

文部科学省指導要領(高等学校)の「水辺の遊び」などの野外教育。リゾートホテルやマリナーにおける市民参加型マリンスポーツ体験、海洋文化育成事業など。